

越谷総合技術高校 <<活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）>>

課程	全日制	学科	電子機械科・情報技術科 流通経済科・情報処理科 服飾デザイン科・食物調理科	R4.5.1 生徒数	(男) 355 人 (女) 261 人	計 616 人			
アクセス	東武スカイツリーライン越谷駅下車徒歩 20 分又は西口からタローズバス 10 分 JR南越谷駅、東武スカイツリーライン新越谷駅西口からあさひバス 8 分+徒歩 10 分								
<目指す学校像>									
社会に貢献する産業人材を育成するために、自ら進んで学ぶ礼儀正しい生徒を育てる									
<教育課程等> ※ 1									
総合技術高校の特色を生かし「チームで働く力を身につけた」人間性豊かな産業人材を育成します。 ◇生徒一人一人に確かな学力と技術を身につけさせる ①基礎基本を重視した普通教科の学習と、充実した専門教科の有機的な連携により、主体的に学びに向かう力を育てます。 ②充実した設備と実践的な実習を通して、幅広い専門知識と高い技術を身につけます。 ③資格取得を奨励し、補習や個別指導をおこないます。 ④課題研究をとおして、課題を発見する力を育て、専門的な知識と技術を深化させます。 ◇充実したキャリア教育と進路指導 ①生徒一人一人に寄り添うきめ細やかな進路指導により進路実現をサポートします。 ②キャリアパスポートを活用し、キャリアデザインを見通したり、振り返る活動をおこないます。 ③進学希望にも応えるため、学習室を設置しています。また、多数の補習講座を開講しています。 ◇豊かな人間性の育成 ①気持ちの良い挨拶や身だしなみを大切にしながら規範意識を高めます。 ②学科間の交流により、多彩な技術や多様な人とのかかわりから、お互いの良さを活かしながら協働する力を育てます。 ③部活動、生徒会活動、学校行事を通し、達成感や充実感を味わい、学校生活に誇りを持たせます。 ④多彩な体験活動により、豊かな心を育てます。 ◇地域に開かれた教育課程 ①本校の高い技術を活かし、地域で本校の教育力を発揮し、地域に貢献します。 ②社会人講師による高度な専門的指導により、実践的な知識と技術を身につけます。 ③地域や社会の人的・物的資源を積極的に活用した、連携・協働した学びが充実しています。									
<本校が求める生徒> ※ 2									
1 本校の教育内容を理解し、本校での学習に強い意欲を持つ生徒 2 本校卒業後の進学や就職等について考えている生徒 3 積極的に取り組む意欲を持ち、努力することの大切さを知っている生徒 4 基本的な生活習慣が身についている生徒									
<学校行事>									
【課題研究発表会】3年間の学習の集大成として、学科ごとに、課題研究発表会を実施します。 【体育祭（6月）】、【球技大会（12月）】体育祭・球技大会はクラスが団結して、クラスの絆を深めます 【文化祭（10月）】文化祭（越総祭）は学科・学年の垣根を越え、全生徒が力を合わせて開催しています。									
<部活動>									
月曜日と金曜日は「部活動の日」 補講や課題の予定を調整し、部活動に優先的に取り組みます。 運動部活動 15 文化部活動 9 が活発に活動しています。 【主な実績】※詳しくは本校ホームページをご覧ください。 ☆第20回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会 2021 出場 ☆メカトロニクス部 第29回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会プレ大会 2位 ☆IT部 第41回全国高校生プログラミングコンテスト 5位 ☆男子バレーボール部 関東大会埼玉県予選 5位 関東大会出場 全国高等学校総合体育大会 県予選5位 ☆剣道部 春季東部地区剣道大会 男子個人・女子個人 県大会出場 他にも県大会出場部活動多数!									
<家庭・地域との連携>									
各学科で、中学生を対象とした体験講座を開講しています。その他、地域の施設において、本校の技術を活かした貢献活動をおこなっています。 【体験活動・貢献活動の一例】 工業系・・・越谷市科学技術体験センター・児童館での連携事業、各地での三二新幹線運行 商業系・・・市農業技術センターや市内店舗との商品共同開発 家庭系・・・小学校での食育教育、米菓組合ECサイト立ち上げ、市役所との連携事業 中学生を対象としたデザイン画コンクール									
進路	R4.3 卒業生	四大	57人	短大	5人	専門	71人	就職	76人
	傾向	全体では、36%の生徒が就職、63%の生徒が進学しています。学校紹介による就職率は、100%を継続して達成しています。近年、4年制大学に進む生徒が増えました。推薦入試以外に総合型選抜での合格者が出ています。6つの学科それぞれに進路希望の傾向があり、高校で学んだ知識や技術を活かした進路実現を目指しています。							

